

センター長だより

大塚でも震度7の地震の可能性が！！

大塚地区交流センター
センター長 加藤秀樹
(防災士、社会福祉士)

はじめに

令和5年10月18日、山形県自主防災組織リーダー研修会(山形市)に参加しました。阪神淡路大震災(兵庫県南部地震)や熊本地震などの原因となった活断層が山形県内にも存在し、それが原因で地震が起こった場合、最大震度7の揺れとなって相当な被害が出ると予想されているということで、研修内容は地震を想定したものでした。大塚に住む私たちが経験している地震はほとんど海で起こっているため、陸地にある活断層が原因で地震が起こるとは誰も考えていないでしょう。しかし、活断層が置賜盆地にも存在し、それが原因で地震が起これば大塚でも震度6強から震度7の揺れが起こると予想されていることを今回紹介したいと思います。

1. 過去、山形県で起こった活断層が原因の地震

山形県内では件数は少ないのですが、以下のように活断層が原因の地震が過去起こっています。

1) 1894年の庄内地震(M7)

震源は庄内平野東縁断層帯で、ごく浅い最大震度は7相当内陸直下型地震でした。酒田を中心起こったことから酒田地震とも呼ばれています。県内で死者726名などの大きな被害がありました。土地の亀裂や陥没、土砂の噴出(液状化現象)があったと記録されています。

2) 1944年(昭和19年)の左沢地震(M5.5)

震源地付近での震度はM6と記録されています。山崩れ、地割れがあり、地鳴りを伴う余震があったと言われています。

以上のほか、近隣県で起こった地震が本県にも影響した例として、1996年宮城県鳴子町(現在の大崎市)鬼首付近で逆断層型の地震(M6.1)と横ずれ断層型の地震(M5.8)が続けて発生し、最上町付近で最大M5.3の地震がありました。

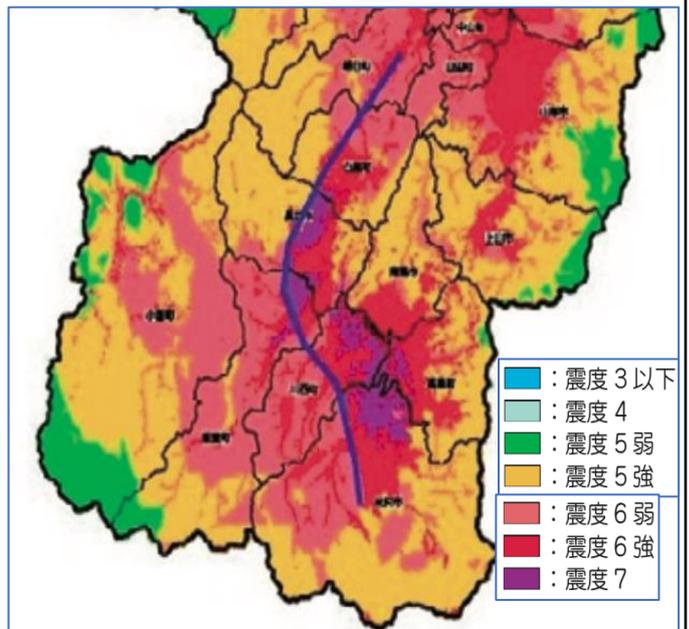
2. 山形県内の断層帯について

平成7年(1995年)の阪神淡路大震災が活断層に原因があったことから、平成17年、政府の地震調査研究推進本部地震調査委員会は県内の4地域(庄内平野、新庄盆地、山形盆地、長井盆地)にある断層帯の長期評価を発表しました(出典:「長井盆地西縁断層帯の長期評価について」)。川西町を含む置賜の活断層は長井盆地西縁断層帯に含まれており、右図のように詳しく紹介されています。北から南へ3つの断層(北から長井盆地西縁断層(白鷹・深山付近～飯豊・添川付近)、高戸屋山断層(川西・菊田付近～大舟付近)、米沢盆地西縁断層(川西・下奥田付近～米沢・李山付近))が走っています。



3. 活断層が原因の地震で予想される川西町と近隣市町の震度分布

県は、平成 21 年にパンフレット「山形県の活断層」の中で予想される震度分布を右図のように発表しています。長井盆地西縁断層帯(図の中央にある「く」の字状の太線)で起こる地震のマグニチュードは 7.7(M7.7)と予想され、川西町のほとんどの地域が震度 6 弱から震度 7 と予想されています。特に川西町と米沢市の東北部が紫色(震度 7)で示されており、大塚地区のほとんどが震度 7 と予想されているのです。



4. 日本海東縁部のプレートの特徴

北海道から伊豆半島付近までの日本の東半分は北米プレートに乗っており、日本海で南北に接しているユーラシアプレート(ロシア・モンゴル・中国・日本の西半分が乗っている)が北米プレートに潜り込んでいます。日本海東縁部は太平洋側沖合に比べて地震の活動は少ないのですが、この数十年間に限れば、北海道から新潟県の沖合で南北方向に列をなして発生しています。日本海東縁部のプレート境界では東西何条(本)かの断層帯が南北に幅広く帯状になっています。この断層帯にかかっている東西圧縮が断層にズレを生じさせ、地震につながると考えられています。

5. 山形県沖の日本海で発生した地震

ここで山形県沖の日本海では過去大きな地震が起こっていることを紹介しておきます。

- 1833 年、庄内沖地震(M7.5)
- 1964 年、新潟地震(M7.5)
- 1983 年(昭和 58 年)日本海中部地震(M7.7)
- 2019 年 6 月山形県沖地震(M6.7)

最近山形県内で起こった記憶に新しい大きな地震は、2019 年の山形県沖地震ではないでしょうか。新潟県村上市で震度6強、山形県鶴岡市で震度6弱を観測しました。この地震により山形県内で負傷者 28 名などの被害が生じました。

むすびに

洪水は気象観測データから予測が可能ですが、地震はいつ起こるか、未だ正確な予測はできません。現在予想されている地震が将来起こった場合、被害は震源、深さ、マグニチュード(M)、震度(揺れ)などの要素が関係しますので、大塚地区ではどのような被害状況になるかわかりません。しかし、確実に言えることは被害は水害以上に広範囲となるということです。

水害であれ、地震であれ、災害については家庭(個人)と地域(大塚地区)で考え、話し合い、備えるべきでしょう。自主防災部会(加藤部会長)では、今年度の事業に避難所マニュアル(手引書)作成を取り上げています。もちろん、冊子だけでなく、非難の場所や備えるべき物資の備蓄についても検討します。現在、武田友祥荒井自治会長を委員長として避難所マニュアル作成作業を進めております。すでに配布している災害対応マニュアルと一緒に皆さんに利用していただけるよう、年度内の完成を目指しています。

センター長出張、会議出席等

(期間：令和5年11月1日～11月30日)

月日時間	会議・出張等の名称	会場
11月1日(水)、9時半～11時	7地区センター長会	町役場
11月5日(日)、11時～13時	吉島ふれあい祭 2023 視察	吉島小体育館
11月10日(金)、11時半～14時	第2回大塚小学校学校運営協議会	大塚小学校
11月11日(土)、8時～12時	大塚振興祭準備	大塚小体育館
11月12日(日)、9時～14時半	大塚振興祭	大塚小体育館
11月17日(金)、9時半～12時	中大塚いきいきサロン	交流センター
同 13時～16時	113号、287号川西期成同盟会合同現地研修	見学現地
11月20日(月)、19時～20時	第2回生涯学習部会	交流センター
11月22日(水)、18時～21時	三地区合同研修	喜楽
11月24日(金)、9時半～17時	センター長会視察研修	山形市
11月25日(土)、11時～11時半	社明協三役会	かとうホール
11月28日(火)、9時半～11時	ファミリーサポートセンター協力会員研修	子育て支援センター
11月28日(火)、14時～15時半	川西ゆうゆう大学全体学習会	フレンドリープラザ
11月28日(火)、19時～20時	社明協第3回執行役員会	交流センター
11月29日(水)、9時～17時	ゆうゆう大学ミニ移動教室	福島県会津
11月30日(木)、8時半～9時半	センター定例ミーティング	交流センター
同 9時半～10時	筋認体操(とっとり方式体操)	交流センター

*上記のほか、月曜日センターで開催の百歳体操に参加しました。



募集：西大塚駅ホーム除雪作業

フラワー長井線を運営する山形鉄道は、西大塚駅ホームの除雪を請け負ってもらえる方を探しています。概略は下記の通りです。

期間 : 令和5年12月1日～令和6年3月31日まで

賃金 : 令和6年1月と2月は月額32,370円

令和5年12月と令和6年3月は1時間1,090円

作業内容: 始発前に10cm以上の積雪(降雪)があった場合、駅ホームの除雪を行います。日中に同様の積雪があった場合にも除雪を行います。
なお、ホーム以外の駅周辺については除雪の必要はありません。さらに詳しく知りたい方はセンターへご連絡ください。山形鉄道から作業内容に関する契約書を預かっていますのでご覧頂けます。



西大塚駅無料レンタル自転車について

この度、西大塚駅に無料レンタル自転車2台とヘルメット2個を配備しました。駅で降車して病院や飲食店等に向かう場合に利用することができます。

【借用方法】①大塚地区交流センター(42-4701)まで申し込み

②氏名・携帯番号・返却日時を伝える

③暗証番号を聞き、施錠を外して使用

【返却方法】①元あった場所に返却する

【注意事項】①交通ルールやマナーを遵守して下さい。

②必ず貸出手続きをして下さい。

募集中！

大塚地区交流センターでは、下記について引き続き募集しておりますので是非とも応募いただきますようお願い申し上げます。

- ・生涯学習推進員(センタースタッフ)※主にスポーツ大会運営
- ・治平館だより等の編集委員ならびに読者モニター
- ・人材バンク登録(専門的な技術や知識、特技等)
- ・書道教室のお世話係(準備や後片付け等)



※それぞれ随時受付をしておりますので、大塚地区交流センターまで各種用紙に必要事項を記載し提出、または応募の旨をご連絡いただきますようお願い申し上げます。

(各種応募用紙は、センターにもございます)